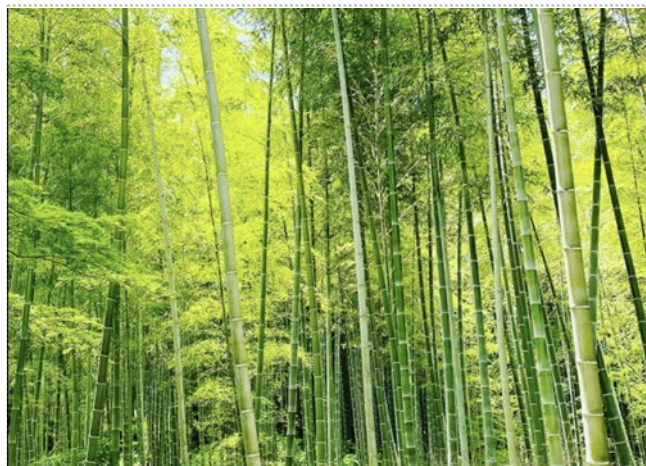


取組名称	竹の可能性を追求！ 自治体、地場企業連携を通じた環境循環型竹産業の構築への挑戦！			団体設立後の経過年数	8年目
応募取組主体名称	エシカルバンブー株式会社	活動地域	山口県	応募取組の活動年数	8年目
取組主体の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 企業 / <input type="checkbox"/> 学校 / <input type="checkbox"/> NPO・任意団体 / <input type="checkbox"/> 自治体 / <input type="checkbox"/> 地域コミュニティ / <input type="checkbox"/> 個人 / <input type="checkbox"/> ユース部門 (概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください) / <input type="checkbox"/> その他				
応募取組に関する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨	私たちは竹を主材料とした商品の製造・販売を行っています。成長性の早さや地主の高齢化・後継者問題、竹に変わる素材の登場を背景とした放置竹林問題を抱える地域において、竹ミネラルの開発・製造を行っていた事業者から設備や人材を引き継ぎ、発展させ事業運営しています。「竹と共に竹を活かし・人と共に人と生きる」と「山や森を整備することを目的としたエシカルなものづくり」をビジョンに掲げ、山口県宇部市、美祢市との連携協定を結び、産官学連携で持続可能な資源としての竹の活用を目的とした環境循環型産業を構築に挑戦しています。
実績の要旨	環境保全の目的で計画伐採した竹を使用し、廃液・排水・排気・排熱すべてを商品化する、環境負荷をかけない循環型製造工場を設立、運営しています。また地域の高齢者や若年ひきこもり、主婦等の雇用創出を行い、地域人材の活躍を支援しています。また、地域の廃校を利用した竹の利活用総合施設「竹LABO」を設立し、竹に関する事業支援や情報発信、地域文化の継承を行っています。令和5年には山口県、宇部市、美祢市と共同でYBMを創設し、刑務作業を活用した竹箸や竹資源を利用した新たな商品開発の支援などの竹資源利活用を推進しています。

取組評価の要旨	環境への貢献	環境保全を目的に計画伐採した竹を利用する事業であり、製造工程において排出物も再利用し環境負荷をかけない製造体制を確立しています。
	社会・経済への貢献	高齢者や主婦、若年層ひきこもり人材の雇用創出に加え社会復帰促進センターとの連携を通じ様々な人材が活躍できる社会実現に貢献しています
	地域資源の活用	繁茂竹林の竹を魅力的な商品として企画、ブランド化し販売網を広げています。また廃校を活用した竹LABOを設立し地域を盛り上げています
	普及・汎用性	放置竹林問題は全国で発生している地域課題です。本取組みが他自治体での、産官学連携の好事例になればよいと思っています。
	革新・ユニーク性	社会課題を起点に地域社会や行政、地場企業との連携を強化することで、一過性ではなく継続的な取組みとしてのサイクルを生み出しています
	継続性	「古きを温め、新しきを知る」観点で変化の負荷が大きくなりすぎないように丁寧に新たな技術導入、新商品の開発及び産業構築を図っています

展望の要旨	地域との強固な連携を基盤に竹の無限の可能性を実直に追求し、竹を中心とした環境循環産業を確立し、他の自治体へ広げていきたいと考えています
-------	---